



Y. M. 現代こども学科 1年次生

参加期間： 2011年2月19日～3月20日（4週間）

受入校： Frey Berg High School (Palmerston North)

I. プログラムについて

前半の2週間は首都ウェリントンでの英語研修と日本語指導研修でした。英語研修は、外国語を学ぼうとする様々な国の方、年齢層の方がいて、毎日がとても刺激的でした。日本語指導研修も、実際に大学に連れて行ってもらい、見学したり、日本のはやりの言葉や歌を披露したり、とても楽しかったです。



後半の2週間は地方の高校に派遣され、教育実習を行いました。実際の授業はとってもドキドキしましたが、現地の学生はとっても素直で日本語を一生懸命学ぼうとしているのでとてもやりがいを感じることができました。





Ⅱ. ニュージーランドでの生活について

4週間で2つの家庭にホームステイさせてもらうので、ニュージーランドの文化や生活様式を間近に感じることができました。放課後や週末にはホストシスターとショッピングに行ったり、ファミリーでキャンプに行ったり、教育実習プログラムではありますが、自由な時間もたっぷりあるので、ニュージーランドを満喫することができました。日本に帰ってからも、ずっと友達でいたいな、と思える人にたくさん出会えたことがとてもうれしいです。



Ⅲ. 参加希望者へのアドバイス

自分の成長のためにこの実習プログラムに参加することも大切ですが、自分のためだけでなく、向こうの学生のために自分に何ができるかや、何を教えたいかをしっかり考えて行くことが大切だと思います。



H. K. 現代こども学科 1 年次生

参加期間： 2011 年 2 月 19 日～3 月 20 日（4 週間）

受入校： St Matthew's College (Masterton)

I. プログラムについて

4 週間ずっと同じ学校に行くわけではなくて、英語学校に行ったり日本語の指導法も事前に学べたことが良かった。英語学校では様々な国の人と交流を持てた。実習校では生徒達が本当に素直で、よく話を聞いてくれた。英語が上手くない私にも真剣に耳を傾けてくれて、日本語をととても熱心に勉強していた。授業間の空き時間には古くなった教材を作りなおしたりした。先生も本当によくしてくださったので不安和らぎ、毎日とても充実していて楽しかった。参加して本当に良かったと思う。

II. ニュージーランドでの生活について

私は高校 2 年生の時にオーストラリアで 2 週間ほどステイしたことがあるものの、やはり驚きの連続だった。食生活や家事のスタイル、街並みや買い物など本当に色々なことが日本と異なっていた。例をあげると、ステイ先の男の子が学校へ行く時も家にいる時も散歩をする時もいつも裸足だったことや、お湯をはった流しにお皿と洗剤を入れて洗い、流さずに終わりという器の洗い方と、バターや砂糖などの使用量の多さなど。しかし、そのような文化の違いを身をもって知るのもとてもいい経験だった。



III. 参加希望者へのアドバイス

行く前は何かと不安があるかもしれないけど、自分が本当に一生懸命な姿勢を見せると相手も親切に接してくれる。ニュージーランドの人々は本当に親切。英語ができなくても、上手く教えられる自信がなくても、一生懸命やればなんとかなる！最高の経験をしてきてほしい。





H. W. 英語英文学科 3年次生

参加期間： 2011年2月19日～3月20日（4週間）

受入校： ST PETER'S COLLEGE (Palmerston North)

I. プログラムについて

2月19日の午後2時半に関西空港を出発して、約11時間後ニュージーランドのオークランドに到着しました。その後国内線に乗り換えて、オークランドからウェリントンへ行きました。プログラムの第1週目は International Institute へ通い英語の勉強をしました。第2週目は OKC で実際にニュージーランドの人に日本語を教えている日本人の先生に、日本語の教え方を教わりました。第3週目からは車で約2時間のところにあるパーマストン・ノースへ移動し第3、4週目を過ごしました。そこではニュージーランドの college へ通い現地の子もたちと一緒にしゃべりしたり、日本語の勉強をしたり、また英語の授業や理科の授業にも参加させていただきました。



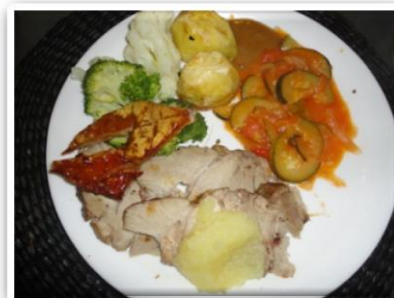
II. ニュージーランドでの生活について

ニュージーランドの2月、3月はとても暖かくて過ごしやすい気温でした。しかし日本人とニュージーランド人では温度感覚が異なっており、ニュージーランド人が半袖を着ていても、私たち日本人は長袖が必要でした。また夜の8時頃までは昼間のように明るく時間の感覚がおかしくなりそうでした。日本とは4時間の時差があったのでニュージーランドに到着したその日は、あっという間に一日が終わりました。ニュージーランドの人たちは親切な人がほとんどで困っているとすぐに声をかけてくれ、案内をしてくれました。





食べ物は日本とは全く異なっておりジャガイモやパンが多く、お米であっても日本のようなお米ではなく、タイ米やおい玉のような形をしたものでした。しかしニュージーランドにある SUCHI 屋さんのお寿司は、具は日本と異なりますが酢飯は日本のものと変わりなく、とてもおいしかったです。



Ⅲ. 参加希望者へのアドバイス

私は英語を話すことが恥ずかしいと思ってしまっていたけど、私のはちゃめちな発音、文法でも理解してくれようとしてくれるので、だんだん会話することが楽しくなりました。だから、機会があれば、どんどん話をしてみるととても良い勉強になります。果物の種類が豊富で安いのでいっぱい食べてみて下さい。

